

装備について

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッド・ランプ



ドア・アウトサイド・ハンドル

ハザード・ウォーニング・ランプ
サイド・ターン・シグナル・ランプ

ハザード・ウォーニング・ランプ
フロント・ターン・シグナル・ランプ

クリアランス & パーキング・ランプ

トランク・リッド

テール & パーキング・ランプ

反射器

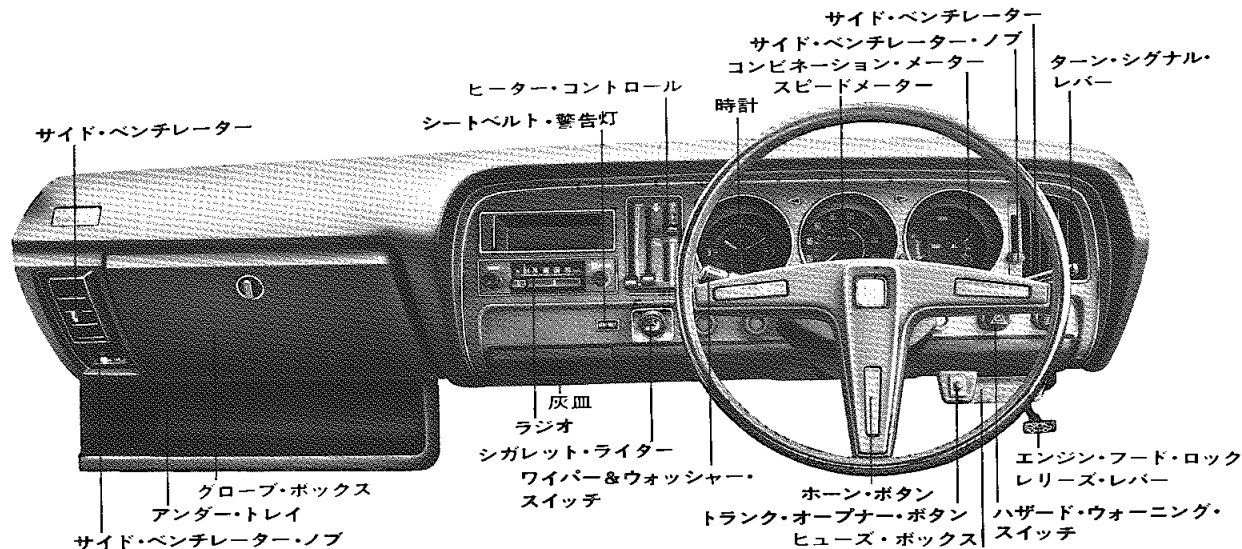
ハザード・ウォーニング・ランプ
ターン・シグナル・ランプ

テール & ストップ・ランプ

バック・アップ・ランプ

ライセンス・プレート・ランプ

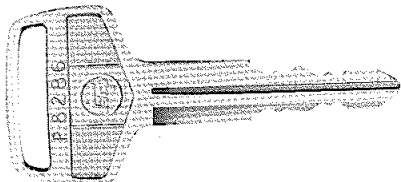




コロナ マークII GL車

ご乗車の前に

■ キーを確認しましょう。

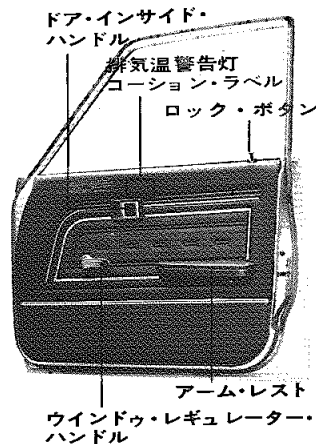
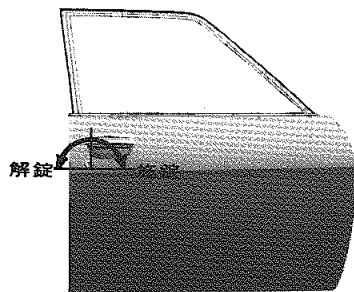


(すべてのキー・シリンダーに使用)

★注意

キー・ナンバーをひかえておきましょう。万一、キーを紛失された場合でも取扱店にお知らせいただければ、スペア・キーを作ることができます。

■ ドアについて



ドアを開けるときは

車外から……

ドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げます。

車内から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

★注意

必ず後方確認をしましょう。いきなりあけると後続車がぶつかる恐れがあります。

ドアを閉じるときは

確実にしめましょう。

★注意

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

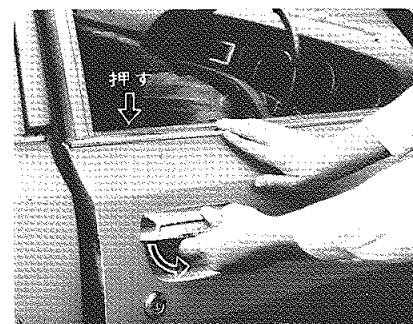
ドアをロックするときは

車内から……

ドア・ロック・ボタンを押えます。

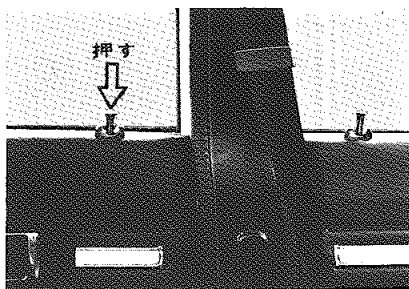
車外から……

<フロント・ドア>



ロック・ボタンを押えドア・アウトサイド・ハンドルの内側をひき上げたままドアを閉めます。

〈リヤ・ドア〉



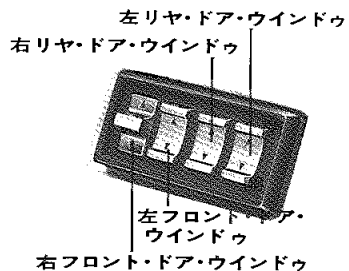
ロック・ボタンを押え、そのままドアをしめます。

★注意

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

■パワー・ウィンドウ

GL, GSL, L, LX, LG車オプション



ドア・ウィンドウ・ガラスは、すべてスイッチで開閉できます。

また、運転席からは、全ドアのウィンドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

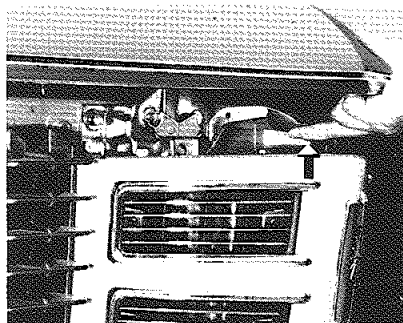
★注意

ウィンドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

■エンジン・フードを開けるには



1. エンジン・フードを開けるには、計器盤右下のレバーを引きます。ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



2. エンジン・フードのすき間に手を入れ、セーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。
3. 閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

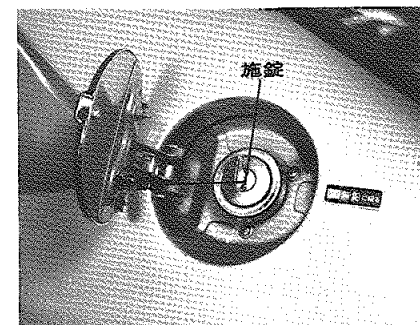
★注意

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

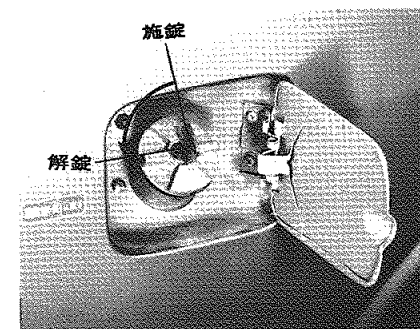
必ず無鉛レギュラー・ガソリンを補給してください。

有鉛ガソリンやガソリン添加剤を使用すると、触媒装置の浄化性能を損います。



キーでロックをはずしキャップを左にまわします。

ワゴン車

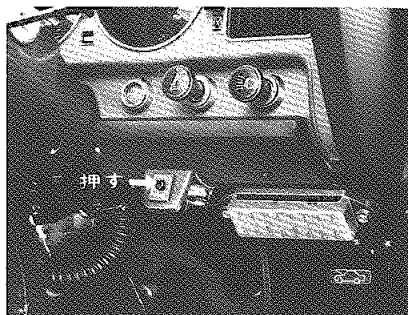


キャップにはロックがついています。左にまわしてから取りはずします。

■ トランク・リッドを開けるには
電磁式トランク・オープナー

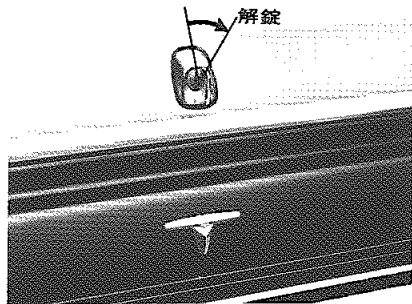
GL車以上標準ワゴン車は除く

DX車オプション



エンジン・スイッチがACCまたはONのときボタンを押すとトランク・リッドが浮き上がります。

キーを使用する時は



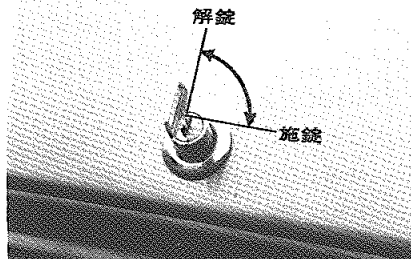
キーを差し込み、右にまわします。閉じるときは、上から手で押えつけるとロックされます。また、GL車以上(ワゴンL車は除く)はライト・コントロール・スイッチがONのときにトランクを開けるとランプが点灯し、トランク内が照明されます。

● 注意 ●

トランク内にキーを置き忘れないようにしましょう。

■ バック・ドアを開けるには

ワゴン車

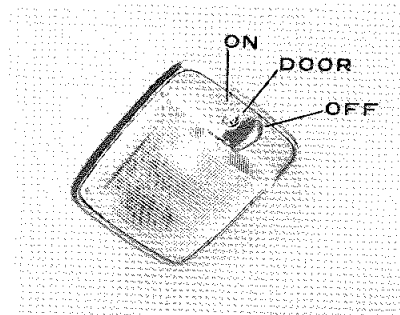


施錠の位置でキーを差し込み、左へまわしプッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

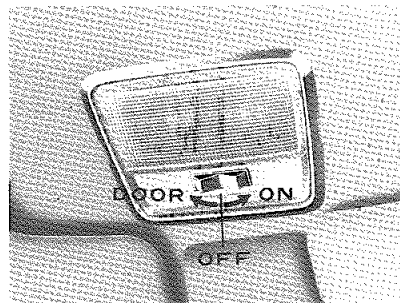
バック・ドアを開くと、バック・ドア・ランプがつきます。

閉じるときは、バック・ドアをそのまま下までおろし、上から手で押えつけて。そのままの位置でキーを差し込み、右へまわすと施錠できます。

■ ルーム・ランプとドアの関係は



L(除くワゴン車), LX, LG車

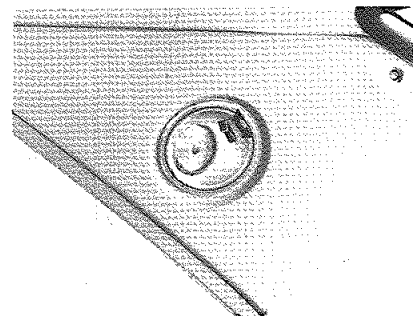


ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- ON ドアの開閉に関係なく点灯
- DOOR ... ドアを開いたときのみ点灯
- OFF ドアの開閉に関係なく消灯

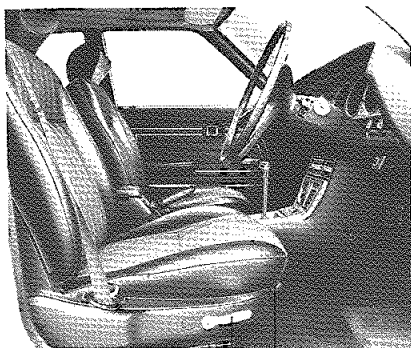
■ リヤ・ルーム・ランプ

L, LX, LG車



スイッチを押すと点灯します。

シートについて



リクライニング・シート・
アジャスト・レバー
アジャスト・
レバー

■フロント・シートの位置を調整 しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

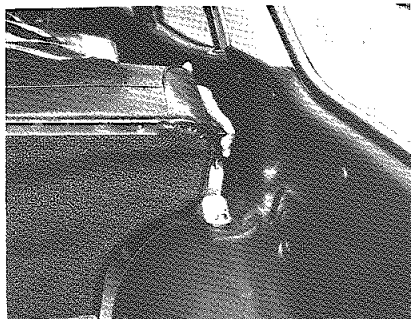
リクライニング調整

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

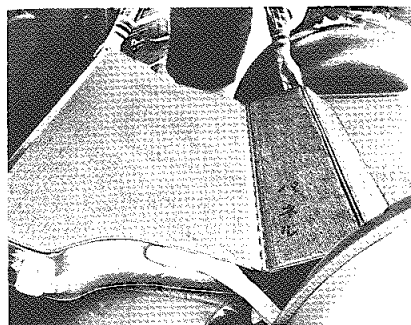
★注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

■リヤ・シート ワゴン車



シート・バックは前に倒すことができます。リヤ・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを前に倒します。シート・バックを起こすときは、中央のパネルを持ちあげて起こします。



シート・バックを後に押えつけると自動的に固定されます。

■ヘッド・レストを正しい位置に前に押しして高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。

ヘッド・レストの正しい位置



■シート・ベルトを忘れずに

運転するときは、必ずシート・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。

また破れないか点検しましょう。

なお、汚れを落すには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

装着方法

1. シートを調節し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻取装置からベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認してプレートをバックルにはめます。プレートがバックルにはまらないときは、ベルトが長くなるように調整します。



3. 巻取装置からベルトをいっぱいに引き出した状態で、腰部のベルトが腰骨にぴったりするまで、肩ベルトを引き上げます。
4. 胸とベルト間に、にぎりこぶしが入る位、余裕があるように肩ベルト部を調整します。

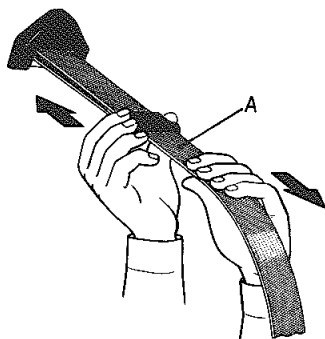
リヤ・シート・ベルトの装着方法

プレート側のベルトをいっぱい引き伸ばし、バックルにはめ長さを調整します。

ベルトの調整

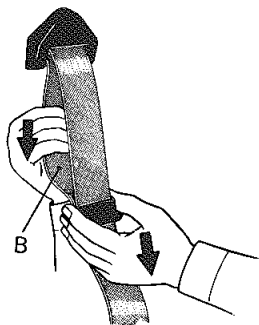
〈長くする場合〉

A部のベルトを水平方向に引っ張り長くします。



〈短くする場合〉

B部のベルトを引きさげベルトを短くします。

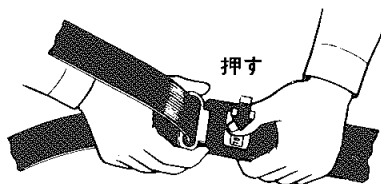


★注意

1. 腰ベルトは、腰骨の位置にしっかり装着してください。
2. 1本のベルトを2人で使用することはやめてください。
3. ベルトの汚れを落すには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

4. お子様を使用することはやめてください。

取りはずし



バックルの中央のボタンを押してベルトをはずします。

リヤ・シート・ベルトの装着方法

プレート側のベルトをいっぱい引き伸ばしバックルにはめ長さを調整します。

■ミラー調整をしましょう。

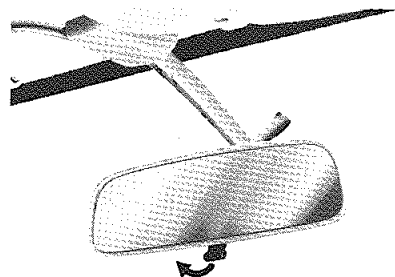
インナー・リヤ・ビュー・ミラー

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー

除くSTD車



夜間走行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

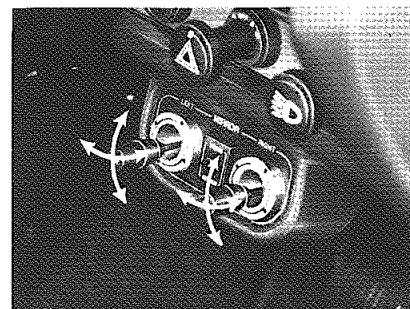
ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

リモート・コントロール・ミラー

LG車標準

LA, L, LX車オプション

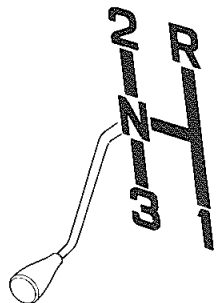


左右のノブの動きは、アウター・リヤ・ビュー・ミラーと連動になっていますので、後方視野が十分確認できる位置に調整しましょう。

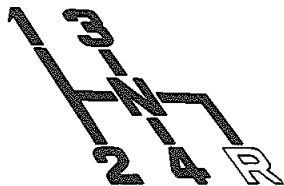
シフト・レバーについて

■マニュアル・トランスミッション

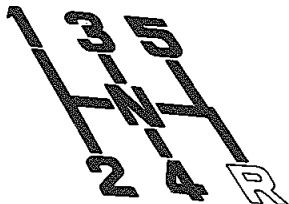
3速コラム・シフト



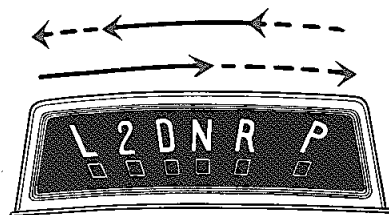
4速フロア・シフト



5速フロア・シフト

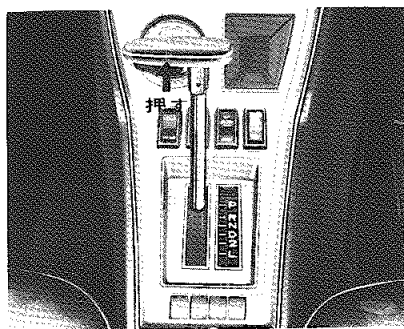


■オートマチック・トランスミッション (各レンジへの入れ方) コラム・シフト



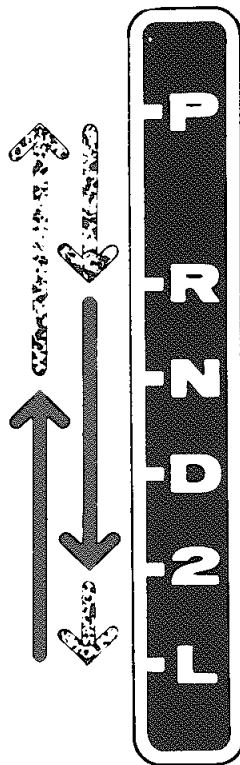
- そのまま動かします。
- > 手前に引いてシフトします。

フロアシフト



→ そのまま動かします。

↑ ↓ コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。



Ⓟ パーキング・レンジ……駐車するときとエンジンを始動する位置

Ⓡ リバース・レンジ……車をバックさせるときの位置

Ⓝ ニュートラル・レンジ…エンジンを始動させる位置

Ⓧ ドライブ・レンジ……通常走行する位置

② セカンド・レンジ……エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

① ロー・レンジ……強いエンジン・ブレーキが必要などときに使う位置

〈運転のしかた〉

- 通常は①で発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤに、トップ・ギヤにと自動的にかわります。
- マニュアル・トランスミッション車と同様に、①から発進し、②から①へと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路をくだるときは、スピードに応じて①または②に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなどで、急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは①でも、ギヤはトップからセカンドまたは、ロー・ギヤに切替わって急加速ができます。

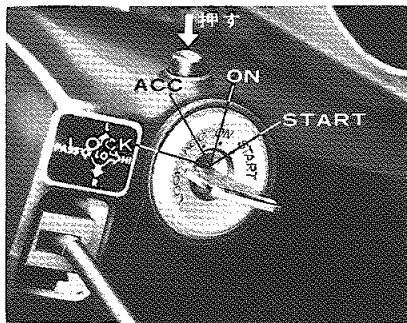
(キック・ダウン操作)

★注意

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引き⑨または⑩にしてください。
2. ⑯と⑰へは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中⑨または⑯以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、⑨から⑯または⑰へ切替えることは危険です。必ずペダルを離してから⑯または⑰へ切替えてください。

エンジン始動について

■エンジン・スイッチ



- LOCK**……………キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。
- ACC**……………エンジンを止めたまま、ラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置。
- ON**……………エンジン運転中の位置。
- START**……………エンジンを始動する位置。
手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときはプッシュ・ボタンを押えて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCにまわらないときは、ハンドルを軽く左右にまわしながら、エンジン・キーをACCの方向にまわすとはずれます。

★注意

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。
バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。

■エンジンを始動するには

1. エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外気温	踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

2. アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
3. しばらく暖機運転をします。
オートマチック・チョークが動いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。

RX車

暖機運転のときエンジンを高回転のまま10分以上放置しないでください。水温が上がったら必ず一度アクセル・ペダルを踏み込んで、エンジン回転数を下げてください。

MX車

エンジンが暖まると、自動的にアイドリング回転にさがります。

スイッチ, メーター について

■スピードメーター〈速度計〉

指針は車の走っているスピードを示し、約100km/h以上になると、チャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがあります、異常ではありません。

■オド・メーター〈総積算距離計〉

走行した総距離をkmの単位で表わします。白字に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター〈積算距離計〉

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■タコメーター〈エンジン回転計〉

6眼メーター付車

エンジン回転数を示します。

赤色の部分をレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

G S L 車

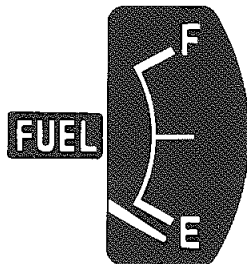
6,500回転以上

L, LX, LG 車

6,000回転以上

■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

■フューエル・ウォーニング・ランプ〈燃料残量警告灯〉

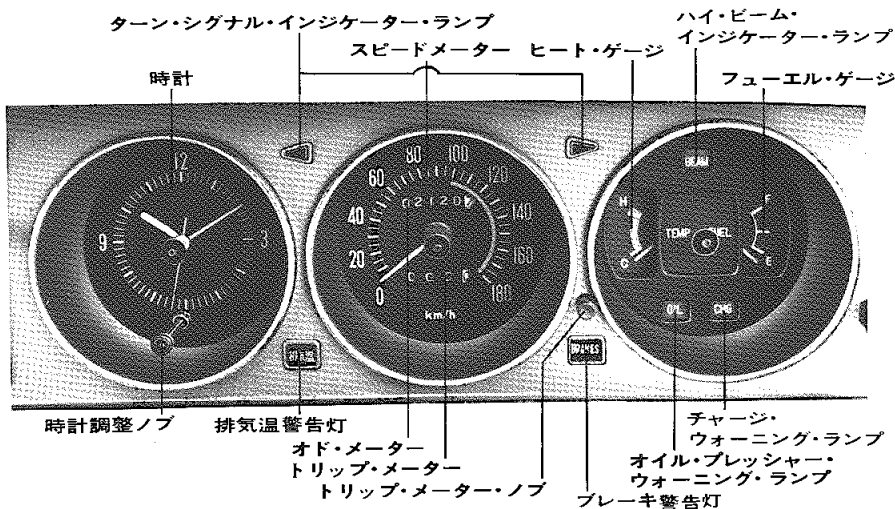
6眼メーター付車

エンジン・スイッチがONのときフューエル・タンク内の残量が10ℓ以下になると点灯し警告します。

■チャージ・ウォーニング・ランプ〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

なお、E F I 車は電圧が規定以下に下がっても点灯し警告します。

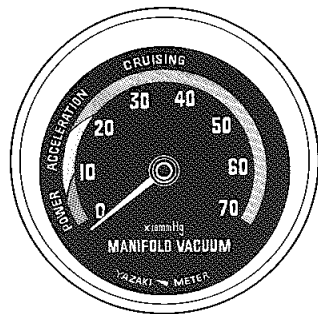


3眼メーター

D X, G L, L A 車

EDモニター

DX, GLの5速フロア・シフト車オプション



EDモニターの表示はエンジン負圧を表わします。経済走行の指針としてご利用ください。

POWER (橙色)

急加速時(エンジン負荷の大きいとき)の範囲。

この場合は燃料消費量の最も多いときです。

ACCELERATION (黄色)

発進時および定常走行中、一時的に加速するときの範囲。

この場合、燃料消費量はPOWER時より少ないときです。

CRUISING (緑色)

定常走行中の範囲。

この場合、燃料消費は経済的です。

定常走行では、指示が大きい状態で運転

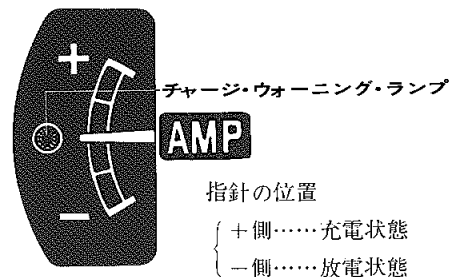
すれば、燃料消費を少なくできます。シフト・ポジションが低いときは、指示が大きくなるがありますが、必ずしも経済的ではありません。走行可能な限り高いシフト・ポジションを使用してください。

注意

1. ゾーン内周は低速走行時、ゾーンの外周は高速走行時の目安としてください。
2. エンジン・ブレーキ時には指示がアイドリング時より大きく示します。

アン・メーター (電流計)

6眼メーター付車

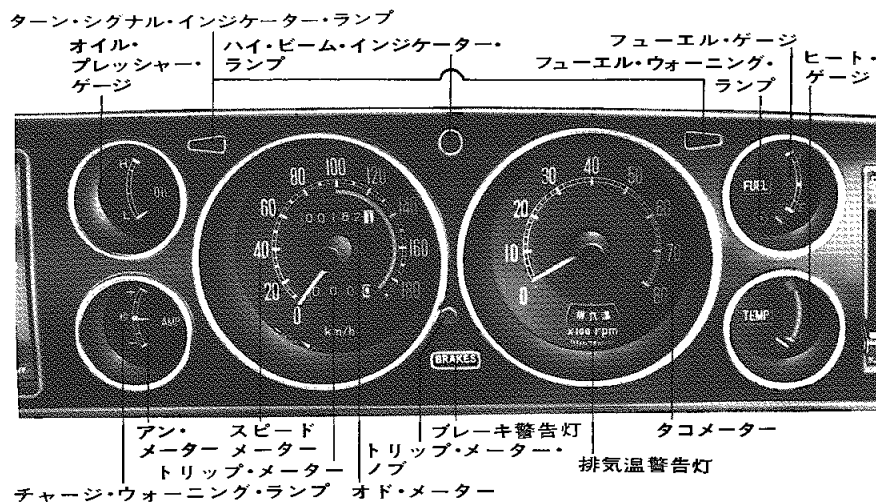


エンジン始動後、指針は⊕側に一時大きく振れますがその後徐々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。

エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使用すぎか、充電システムの故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ (油圧警告灯)

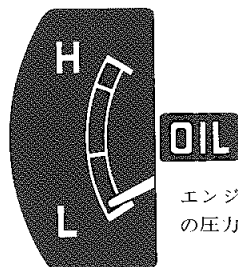
エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。



6眼メーター **GSL, L, LX, LG車**

■ オイル・プレッシャー・ゲージ

6眼メーター付車



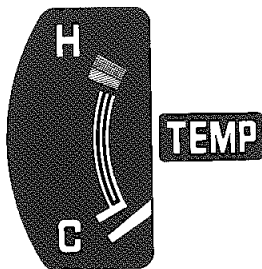
エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

エンジン回転数を上げて指針が動かないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。オイル量が正規であれば、他のところに故障があります。

■ ヒート・ゲージ <水温計>

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

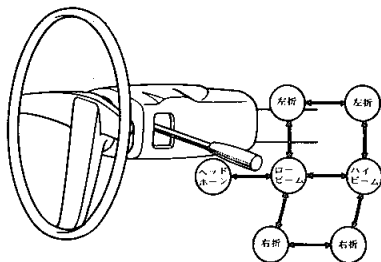
エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみ等について点検してください。イエロー・ゾーンまでは走行してさじつかえありません。



■ ターン・シグナル・インジケーター・ランプ <方向指示器指示灯>

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅(緑色)します。

■ ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

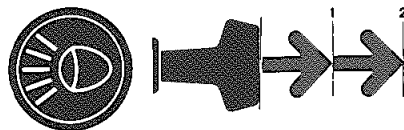
ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ディマー・スイッチとして……

ハイ・ビームとロー・ビームの切替えをします。夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ ライト・コントロール・スイッチ



エンジン・スイッチに関係なくランプがつきます。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

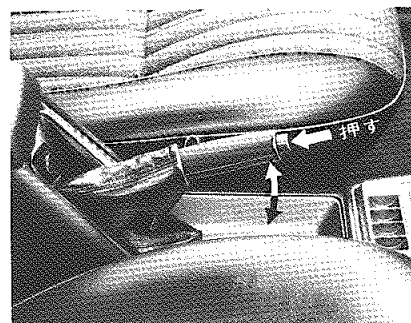
灯 火 名	①	②
ヘッドランプ	○	○
クリアランス・ランプ、テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

■ ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケーター・ランプが点灯(青色)します。

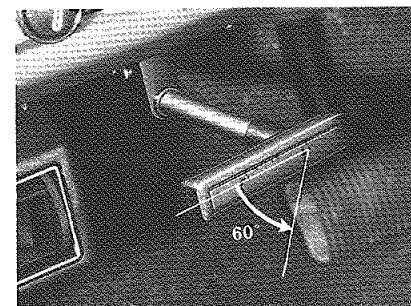
■ パーキング・ブレーキ・レバー

フロア・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使用します。もどすときは、レバーをかるく引きあげながら、レバー先端のノブを押えてもどします。

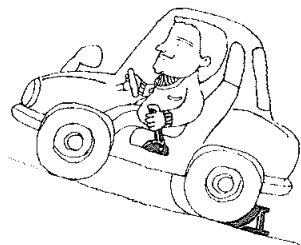
コラム・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使用します。もどすときは下に約60°まわしてもどします。

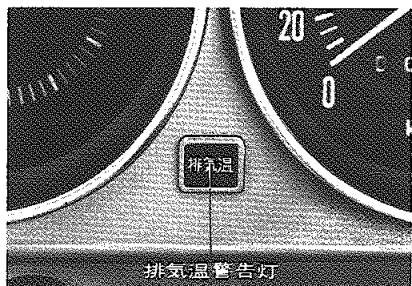
坂路での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバース(オートマチック車はパーキング・レンジ)に入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



■排気温警告灯

触媒装置の温度上昇を警告します。



1. エンジン・スイッチをSTARTにすると「排気温」のランプが点灯し始動すると消灯します。

STARTにしても点灯しない場合は、ランプ切れ、回路断線などの故障が考えられますので、サービス工場で点検を受けてください。

2. 点火系統に故障が生じた時などに、「排気温」ランプが点灯することがあります。

これは触媒装置の温度が高くなったことを示しますので必ず次の処置をしてください。

- (1) 走行中は速度を落してください。警告灯が点灯した時の、半分程度に速度を落して走行してください。普通は数分以内に消灯します。
- (2) 停車中は、エンジンを止めて冷却するまで放置してください。

その後、警告灯が消灯した場合はもとのように走行できます。たびたび点灯する場合は、そのまま使用せず、サービス工場点検整備を受けてください。

■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ
エンジン・スイッチがONのときに作動します。

ワイパー・スイッチ

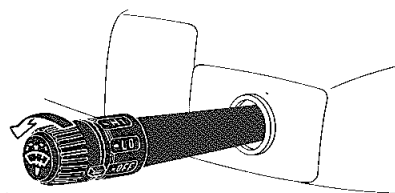
コラム・シフト車 STD, DX車



1段……低速 普通雨量のとき
2段……高速 雨量の多いとき

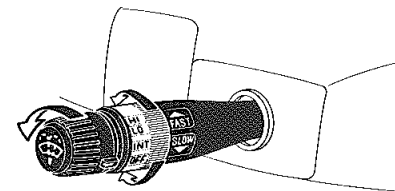
スイッチを切ると、ワイパーは動きはじめの位置までもどって止まります。

フロア・シフト車 DX車



LO……低速 普通雨量のとき
HI……高速 雨量の多いとき

GL車以上



INT……4～12秒おきにワイパーが1回作動します。雨雪量の少ないときに使用してください。

スピード調整ツマミで、ワイパー停止時間を4(ファスト)～12秒(スロー)まで調整することができます。

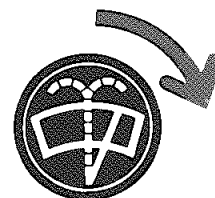
LO……低速 普通雨量のとき

HI……高速 雨量の多いとき

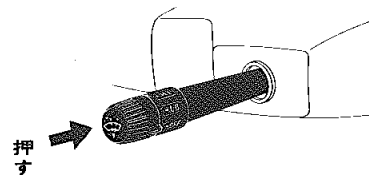
スイッチを切ると、ワイパーは動きはじめの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ

コラム・シフト車



フロア・シフト車



スイッチを押すとウォッシャー液が噴射されます。

ウィンドウ・ガラスがよごれているとき使用します。

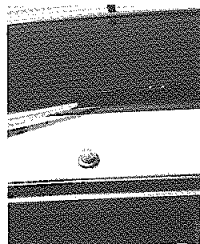
★注意

1. 汚れたまま使用するとガラスに傷がつきます。
ウインドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
2. ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチを回さないでください。回すとポンプをいためる恐れがあります。

リヤ・ワイパー

ワゴンL車標準

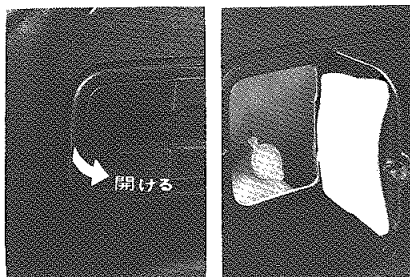
ワゴンDX車オプション



エンジン・スイッチがONでこのスイッチを引くと作動します。

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・タンクの位置

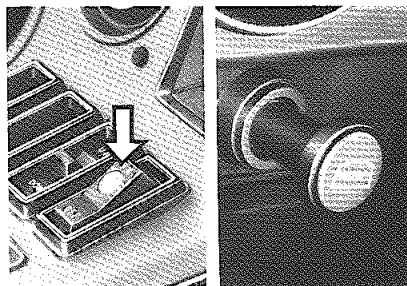


スイッチを右にまわすと、ウォッシャー液が噴射されます。

■リヤ・ウインドウ・デフォガ

除くSTD車

フロア・シフト車 コラム・シフト車



エンジン・スイッチがONのとき作動します。

リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。

スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★注意

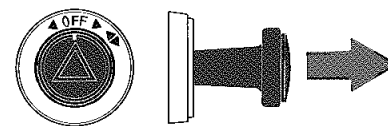
デフォガは消費電力が大きいので、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。

スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雪をとく能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・

スイッチ

ハザード・ウォーニング・スイッチとして



故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

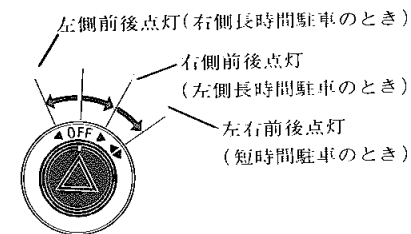
スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

★注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。



■シート・ベルト警告灯

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、シート・ベルトを装着すると消えます。

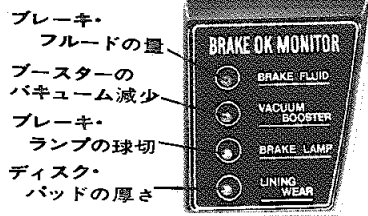
■ブレーキ警告灯

1. エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーを戻すと消えます。
2. レバーを戻しても消灯しないとき、または走行中点灯したときは、ブレーキ・フルードが規定レベル以下になっているかまたはESCが故障している(ESC付車)ことを警告します。

■ブレーキ・OKモニター

GSL, L, LX, LG車標準

ブレーキに関する4項目の異常を警告します。



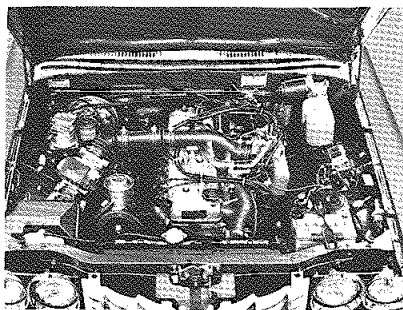
1. エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると4個の発光素子が点灯します。
発光素子の点灯はエンジン始動後、数秒間続きその後消灯します。
2. エンジン回転中に検知個所に異常があれば、該当個所の発光素子が点滅し同時に警告音が異常を知らせます。異常個所が発見されたら、ただちに車を止めて最寄りの取扱店へ連絡しましょう。

★注意

OKモニターだけで作業点検を済ませず、お出かけ前の点検はエンジン・フードを開けて行ってください。

■EFI(電子式燃料噴射装置)

M-EUエンジン車



EFIはエンジンが必要とする燃料を、キャブレターのかわりに、コンピューターによって正確にコントロールする装置です。

★注意

無線装置を取り付けるとエンジンに異常が生じることがあります。この場合は取扱店にご相談ください。

■ESC(電子制御式スキッド防止装置)

セダンL車オプション

ESCはすべりやすい路面や、高速走行における制動時の横すべりを、防止する装置です。

〈走行前のチェック〉

ブレーキ・ペダルを踏み、エンジン・スイッチをONにすると、エンジン・ルームから作動音“コトン”が聞えます。作動音が聞えたら走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。

〈走行中のチェック〉

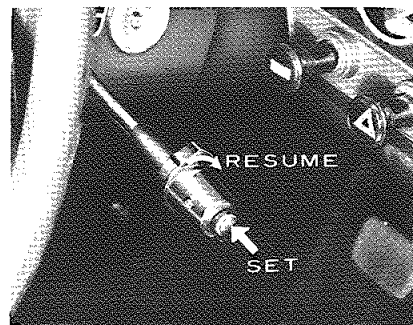
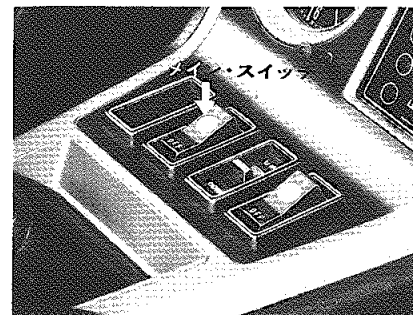
走行中、赤色のブレーキ警告灯が点灯した場合は、ESCに、故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

★注意

1. 万一、ESCが走行中、故障した場合は、普通のブレーキ機構に戻ります。
2. 無線装置を取り付けるとESCが、誤作動することがあります。
この場合は取扱店でご相談ください。

■オート・ドライブ

STD, DX, ワゴン車を除く全車オプション



オート・ドライブとは車速が一定に保た

れる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のSETボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。SETボタンを離した時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1)ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2)クラッチ・ペダルを踏んだ時
(マニュアル・トランスミッション車)
- (3)シフト・レバーをNにした時
(オートマチック・トランスミッション車)
- (4)パーキング・ブレーキを引いた時
- (5)メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1)微増速の場合

SETボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2)減速の場合

SETボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、SETボタンを離してください。

(3)増速の場合

そのままの状態でアクセルを踏み、希望の車速になったら、SETボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

<車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときのみ>

オート・ドライブ作用時、ブレーキまたはクラッチを作動させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどりたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回してください。

注意

アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

時計 DX車以上標準

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま回して行ないます。

ラジオ、ステレオ

ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチをONかACCにして、電源スイッチを押しONにして使用します。

アンテナ DX, LA車標準

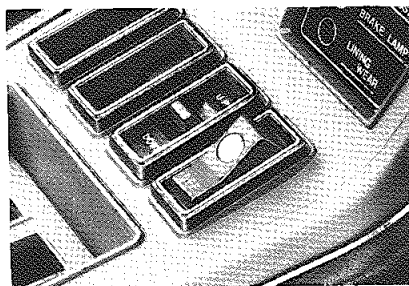
STD車オプション

アンテナを伸ばすときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい伸ばしてお使いください。

モーター・アンテナ

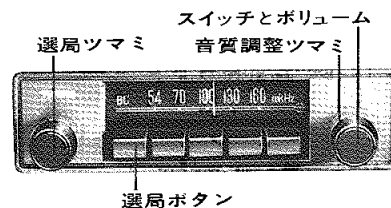
GL, G S L, L, L X, L G車標準



スイッチを前側に押すとアンテナは自動的に上がります。

後側に押すとアンテナは下がります。

DX, LA車標準 AM 5 ボタン式 STD車オプション



<選局ボタンのセットのしかた>

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミ(TUNING)で望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行ったら選局しなおしてください。

<選局ツマミ>

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

<音量調整>

音量調整ツマミ(VOLUME)をまわしてお好みの音量に調整してください。

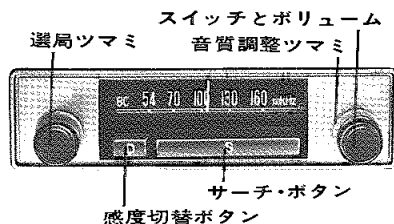
<音質調整>

音質調整ツマミ(TONE)をまわしてお好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

GL, GSL車標準

STD, DX, LA車オプション



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

〈選局のしかた〉

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

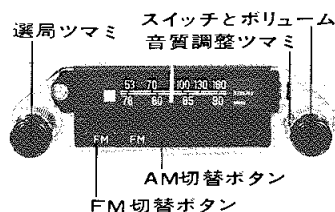
〈感度の切替え〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替えボタンを押し込んでください。もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FM5 ボタン式

L, LX車標準

STD, DX, GL, GSL, LA車オプション



〈AM・FM放送の受信のしかた〉

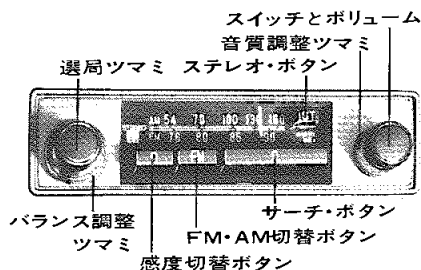
AM・FMの切替えは選局ボタンで行ないます。

AM放送受信中にFM放送に切替えるときは、FM選局ボタンを押して選局ツマミをまわし、お望みの放送を選んでください。選局ツマミによるAM・FMの切替えは選局ボタンを押したあとでなければ切替わりません。選局ボタンのセットはFM2局、AM3局がセットできます。他はAMラジオと同じです。

AM・FMマルチ・ステレオ式

LG車標準

その他オプション



〈FMボタンのセットのしかた〉

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどり、AM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

〈バランス調整〉

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。もっともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

〈マルチ・ステレオのセットのしかた〉

FM放送受信中にステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。ステレオ受信中にはステレオ・インジケータ・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンは戻りFMモノラル放送にかわります。

〈FMステレオを上手に聞くには〉

FM放送の電波はAM放送にくらべ到達距離が短くまた直進性のため、ステレオで聞いている時、ビル街や山の陰、また電波の弱い場所ではシャッシャッと音が変わったり、FMステレオ・インジケータが点滅することがあります。これは電波が急に弱くなるため、ラジオの故障ではありません。

なおこの場合はFMステレオボタンをもう一度押してモノラルにしてください。聞きやすくなります。またアンテナはしっかりと伸ばしてお使いください。

〈雑音が気になるときは〉

放送電波が雑音電波より弱い場合は、プツツと雑音が混入します。このような場所では次のように操作してください。

1. エンジンかけた状態で、選局ツマミをまわし、雑音がいちばん少ないところへ合わせ直してください。
2. さらに電波の弱い地域で、どうしても雑音が気になるときは、音質調整ツマミを左にまわして低音にすると、聞きやすくなります。

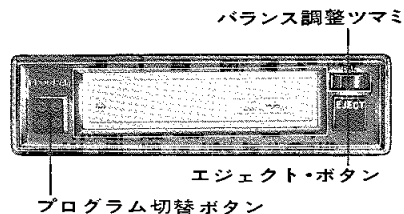
■ステレオ

全車オプション

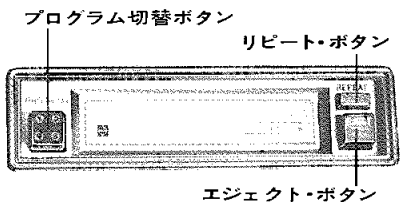
ステレオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

カートリッジ・ステレオ

全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと、自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

<バランス調整>

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。

もっともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

<音量調整>

ラジオの音量調整ツマミ(VOLUME)をまわして適当な音量に調整してください。

<音質調整>

ラジオの音質調整ツマミ(TONE)をまわしてお好みの音質に調整してください。

<プログラム切替え>

演奏中、プログラム切替えボタンを押すと他のプログラムに切替えることができます。

1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切替わります。

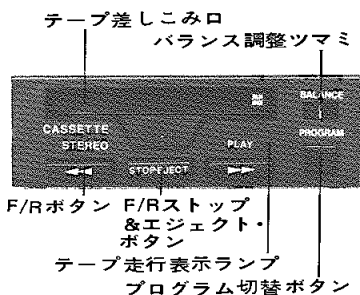
マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはリピート・ボタンを押すとプログラムをくりかえすことができます。

▲注意

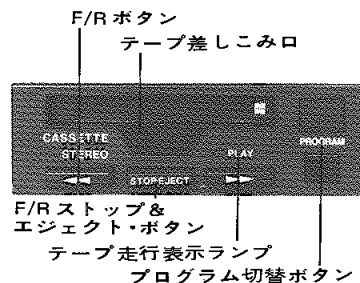
1. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

カセット・ステレオ

全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション



<演奏開始>

カセット・テープを差込口にまっすぐ“ロック”されるまで差込んでください。自動的にテープ走行方向表示ランプ(PLAY)が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

<音量、音質調整>

ラジオの音量(VOLUME)、音質調整ツマミ(TONE)で調整してください。

<バランス調整>

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。

もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

<プログラム切替え>

プログラム切替えボタンを押すと、プレイ方向表示ランプが切替わり、テープ走行方向の切替えができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバース

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切替わります。

<早送り(F F)、巻き戻し(R E W)>

F/Rボタンを押すとテープの早送り、または巻戻しができます。

プレイ走行方向表示ランプの点灯は、テープ走行の方向を表わしています。

プレイ・ランプの点灯している方向と同じ矢印表示のF/Rボタンを押すと早送り、逆方向の矢印表示のF/Rボタンを押すとテープの巻戻しができます。

〈早送り(F.F),巻戻し(REW)の解除〉
エジェクト&F/Rストップ・ボタンを軽く押すとテープの早送り,巻戻しを解除することができます。

〈演奏停止〉

演奏を停止させテープを取り出したいときは,エジェクト&F/Rストップ・ボタンを強く押し込んでください。

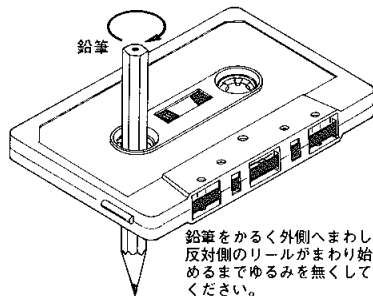
カセット・テープが差込口に押し出され同時にテープ・プレーヤの電源もOFFになります。

▶注意▶

1. C-120テープおよびクローム・テープは使用しないでください。テープのまきつきや,ヘッドの摩耗を早めます。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。回転むらや,テープの巻き込みの原因になります。

3. カセット・テープを挿入する時は,テープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

たるんだテープの修正方法



ヒーター

温度調整レバー

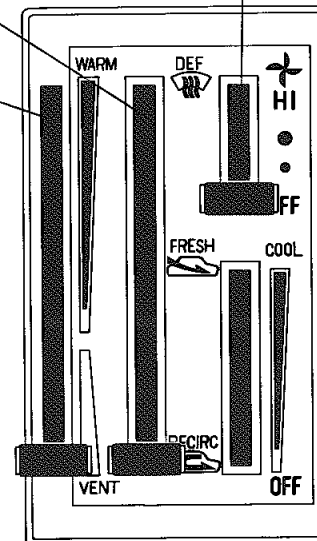
- WARM 室内暖房
- VENT 室内換気

内外切替えレバー

- DEF ガラス曇り止め
- FRESH 外気導入
- RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

- HI 強風
- 中風
- 弱風
- OFF 停止

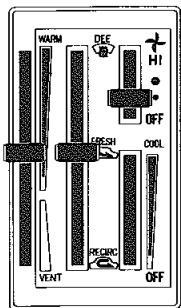


ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター（暖房用）として
 - ②デフロスタ（曇り止め）として
 - ③ベンチレーション（換気用）として
- スイッチ・レバー操作は次のようにします。

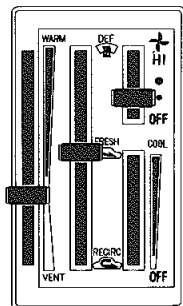
1. 外気による室内暖房

(通常のご使用の場合)



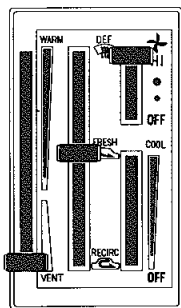
WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

3. 車内を暖めながら換気する操作



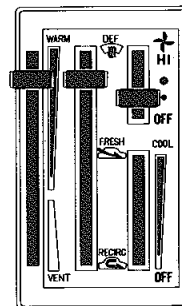
4. 強制ベンチレーション

(夏期ベンチレーション)



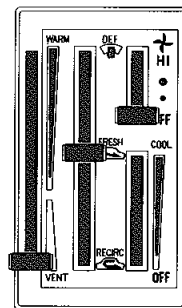
サイド・ベンチレーターも使用すると、一層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ (冬期の場合)

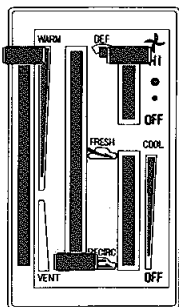


曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作 (走行中)



2. 内気による室内暖房



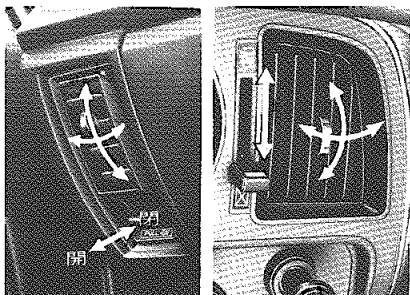
外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

その他

■サイド・ベンチレーター

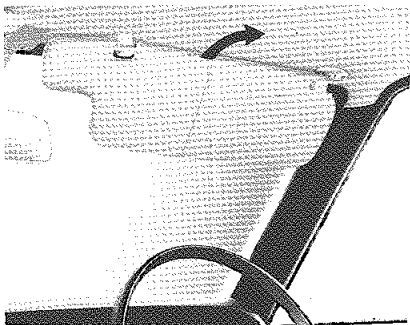
左側

右側



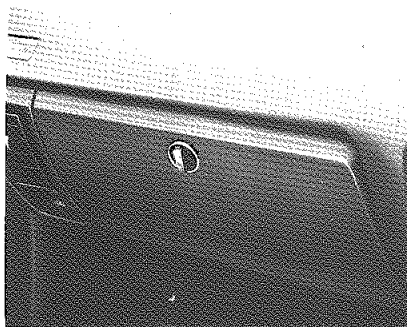
車内の空気を入れかえたいとき使用します。ベンチレーターから新鮮な空気はいります。また、中央部のレバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■サン・バイザー



ホルダーからははずすと、横にまわすことができます。

■グローブ・ボックス



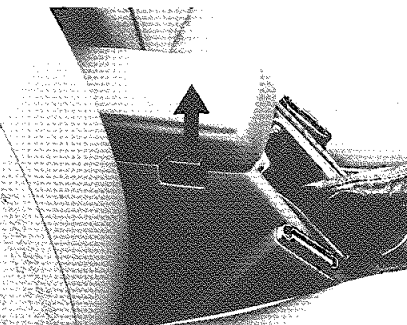
つまみを左にまわすと開きます。

DX車以上

ライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くとボックス内右横のランプがつきます。

■コンソール・ボックス

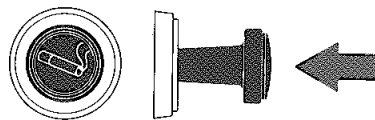
フロア・シフト車



運転席側のボタンを引き上げてフタを開けてください。

■シガレット・ライター

DX車以上標準

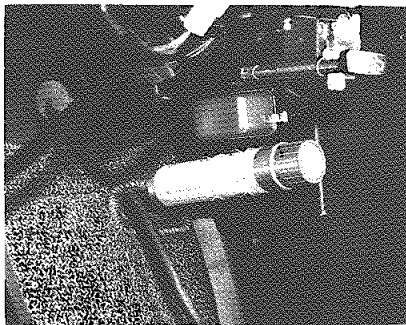


シガレット・ライターは押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

注意

押えつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■保安炎筒



踏み切り内で、故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用方法は保安炎筒をよく読んで万が一に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年でラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は約5分間です。

注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。